

二人のいる球場

会社員 野本浩一 (東京・世田谷区)

野に出て遊ぶからこそ野球なれ  
東京ドームは屋球と言ふらむ

福岡の開閉式ドームだと、開けたら野球で閉めたら屋球となり、ちょっと紛らわしいかも知れないが……  
所沢で、名残の桜という風情も漂う西武球場に足を運び、西武―福岡ダイエーの開幕試合を観戦したのは四月十日。春早々から気持ちは高揚朝パッと目覚めた。  
会社に届いた招待状に便乗して、試合前のレセプションにも出席した所沢、当日のテレビ放送にゲスト出演した伊藤みどり嬢が挨拶するとう、うれしい趣向。写真撮影にも個別に応じてくれたので、僕も会社の先輩方と一緒に撮影させていただいた

た。テレビのCM風に質問する僕は彼女にはどんなオジサンに映ったことやら……

——みどりというのはカンベキのベキですか、ケツベキのベキですか？  
——コンベキのベキじゃなくて、ひらがなです。

と受けつつ、愛想よく写真に収まるみどり嬢だが、次から次へと押しつけてくる人に応対して食事もままならなかったよつで、人気者は大変だな、と思ひやる僕。

野球の方は、福岡ダイエーが優勢でやや一方的な展開だったが、バックネット裏では五回終了と同時にカメランが一斉に最前列に押し寄せたので、誰？だれ？ダレ？と、やや興奮。それから延々とカメラ片手の

観客が押し寄せ、あの吉永小百合さんを隠し撮りしようとして、見ている僕も野球どころじゃなかった。  
だけど、しばらくして後ろの高校生四人が「オジサン、あの女の何って何なの？」と質問してきた時には、

サラリーマン ことわざ笑辞典

同業会 曾田英夫 (埼玉・所沢市)

案いじるより生むがむずかし  
(案じるより生むがやすし)

老いては定年に従え  
(老いては子に従え)

男は三年に一度異動する  
(男は三年に一度笑う)

上司のいぬ間に命の洗濯  
(鬼のいぬ間に洗濯)

己を責むるな人を責めよ  
(己を責めて人を責むるな)

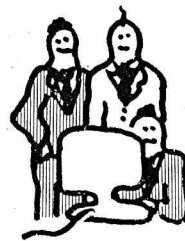
時代の流れを感じ、かつての人気者も大変だな、と思いつつ詠んだ歌。

みどりなる森清原に咲く小百合  
見初めし後は野球忘れむ

部下を持って知る上司の恩  
(子を持って知る親の恩)

ころばぬ先のジョギング  
(ころばぬ先の杖)

三人寄ればワープロの知恵  
(三人寄れば文殊の知恵)



日帰り出張には短かし、  
一泊では長し  
(帯に短かし、たすきに長し)

●野本様、曾田様、お手紙ありがとうございました。『さくらあい』では皆様からのお便りをお待ちしております。

●宛先 (7月12日以降)  
〒102 千代田区麴町6-1-25  
上智大学ビル1F  
さくら総合研究所事業開発部

『さくらあい編集室』

8月号予告

●さくらあいインタビュー  
●小木新造 江戸東京歴史財団理事  
●特集 江戸東京ブームを読む  
●特集 江戸期の商人道に学ぶ

編集室から

●私が本誌の「インタビュー」を担当して、約2年になります。この7月号のインタビューでは、宝幸水産の中島寛社長に登場していただきました。

昨今、リストラという言葉をよく耳にしますが、多くの企業は、交通費、交際費、広告費のいわゆる「3K支出」の抑制や、雇用調整などで対応しているようです。宝幸水産の場合は、200カイリ問題で企業の存亡にかかわる状況に直面し、文字通りゼロからの出発となったのでした。

長年にわたる企業努力の結果、現在では総合食品会社に変貌し、業績も黒字に転換しています。そのプロセスについて子細にお話をお聞きして、小手先の合理化などではない、真のリストラとは何かをかい間見たような気がします。

このインタビューが、皆様のご参考になるようであれば、担当の私としても望外の幸せです。  
(古沢壮介)

(おわびと訂正)

●先月号、「さくらあい INTERVIEW」にご登場いただいた吉本興業株式会社の中村社長の出身校は、関西大学ではなく、関西学院大学の誤りでした。ここに、おわび申し上げますとともに、訂正させていただきます。